

令和5年度

新潟大学工学部同窓会 悠久会全国総会

100周年記念全国総会「米百俵総会」講演会ライブ配信のおしらせ

新潟大学工学部創立100周年を記念し、講演会を実施します。

本講演会は、開催形式を現地及びライブ配信によるハイブリット開催で行います。

遠方にお住まいの方やご都合が合わない方も、ご自宅からご視聴いただけます。

ライブ配信の視聴には事前申し込みは不要です。

配信日時：7月15日(土) 14時30分～16時45分

※配信は終了しました。

講演会 1 (14時30分～15時30分)

「東山油田の歴史とその遺産としての高等教育機関の設置過程」

【講師】長岡郷土史研究会 長谷川健一 会長

【要旨】今から約140年前に油田開発が始まり、ピーク時には4万キロℓ/年の原油を算出、石油掘削機械の製造・修理などの技術から、機械加工、鋳造業などの産業が飛躍的に発展し、「ものづくりのまち長岡」として知られるようになりました。こうした工業都市の発展を支える人材を育成するため創設された本学の設置過程等についてお話しします。



講演会 2 (15時45分～16時45分)

「はやぶさ2の冒険：惑星間往復飛行を成し遂げた技術とマネジメント」

【講師】宇宙航空研究開発機構 (JAXA) 宇宙科学研究所 津田雄一 教授

【要旨】小惑星探査機はやぶさ2は2018年に人類未踏の小惑星リュウグウに到達し、4基のロボットによる地表探査、2度着陸してのサンプル採取、直径18mという大きな人工クレーターを生成するなど、数々の難度の高い挑戦を成功させました。そして2020年12月に5.4gのリュウグウサンプルとともに地球帰還を果たしました。はやぶさ2の宇宙飛行の軌跡を辿り、日本の今後の宇宙開発の展望についてお話しします。

